

科目名	商品プロデュース		Subject	Product Production	
サブタイトル	オリジナル美容商品の研究および企画				
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」		
開講年次	開講時期	必修／選択	美容芸術	社会実装	
2 年	前期	選択			
授業形態	単位	時間			
演習	2 単位	30 時間	◎		
ゲストスピーカー招聘回	4, 5, 7, 8, 9, 10				
教員名	小野田・富田		メールアドレス	mitsunobu.onoda@・・・	
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】				
実践的教育	○ 美容師経験をもとに、実践に即した内容としている。				
オフィスアワー	授業の前後30分に直接声をかけてください。				

科目の概要								
シャンプーなどの美容用品に対する理解を深め、商品を生産する。 授業では主にシャンプー剤を取り上げ、オリジナルシャンプーについて成分研究、顧客想定、パッケージデザインを含めて総合的に企画する。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	○	○	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
美容芸術	髪や頭皮の理論、成分などのケミカルについて学び、洗浄成分、保湿成分等さまざまな成分を調べ分析・研究することで、自分のイメージする商品を企画することができる。また、販売までを視野に入れ、パッケージデザインや流通価格の相場、商品化されるまでの経過を知ることで具体的な商品開発につなげることができる。							
教科書・教材								
教科書	教員作成資料							
参考文献	化粧品内容成分由来事典、化粧品毒性判断事典							
各自準備教材								
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	30%	-	-	30%	-	40%	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
個別に実地指導を行います。								
履修上の条件・注意								
遅刻、欠席は授業進行に支障が出る為原則認めません。また、その為に再度デモンストレーション等の時間は設けません。授業中の私語、勝手な退室等の不適切と思われる行為を行った場合は、欠席と同等の扱いとします。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第 1 回	オリエンテーション [担当教員：小野田]	流通している美容用品と成分の関係を知り、述べることができる。	さまざまな美容用品の成分について調査する。	240 分
第 2 回	シャンプー成分などについて学ぶ [担当教員：小野田]	シャンプー成分などについて深く理解し、説明することができる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。	240 分
第 3 回	成分と効果の違いを体験する [担当教員：小野田、富田]	成分と効果の違いを体験し、その結果について説明することができる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。	240 分
第 4 回	ケミカル実験 1 (基本レクチャー) 【ゲストスピーカー：未定】	シャンプー剤製作のポイントや注意・進行工程を理解し説明できる。	実験内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。	240 分
第 5 回	ケミカル実験 2 (レクチャーと実験) 【ゲストスピーカー：未定】	シャンプー剤製作のポイントや注意・進行工程について、実験を踏まえて説明できる。	実験内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。	240 分
第 6 回	アンケート調査 [担当教員：小野田、富田]	作成する商品についてアンケート調査を行い、企画を立案することができる。	調査内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。	240 分
第 7 回	流通とマーケティング 【ゲストスピーカー：保科俊一】	製品販売における流通やマーケティングの重要性を理解し説明できる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。	240 分
第 8 回	顧客想定とマーケティング 【ゲストスピーカー：保科俊一】	製品販売における顧客想定やマーケティングの重要性を理解し説明できる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。	240 分
第 9 回	成分検討 1 (成分提案) 【ゲストスピーカー：保科俊一】	作成する商品について成分を検討し提案することができる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。	240 分
第 10 回	成分検討 2 (成分決定) 【ゲストスピーカー：保科俊一】	作成する商品について成分を検討し決定することができる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。	240 分
第 11 回	パッケージデザイン 1 (イメージとネーミング) [担当教員：栗本]	パッケージにおけるイメージやネーミングの効果を理解し説明できる。	講義内容について研究し、次回授業に活かせるように理解を深めておく。	240 分
第 12 回	パッケージデザイン 2 (イメージとロゴデザイン) [担当教員：栗本]	パッケージの形態やイメージを想定し、ロゴデザインを作成することができる。	講義内容について研究し、次回授業に活かせるように理解を深めておく。	240 分
第 13 回	パッケージデザイン 3 (全体イメージ作成) [担当教員：栗本]	パッケージ、ロゴ、カラーなど、トータルでサンプルデザインを複数作成することができる。	講義内容について研究し、次回授業に活かせるように理解を深めておく。	240 分
第 14 回	パッケージデザイン 4 (完成) [担当教員：栗本]	作成したサンプルデザインを検討し決定することができる。	講義内容についてまとめ、資料を作成する。	240 分
第 15 回	プレゼンテーション [担当教員：小野田、富田]	企画した商品について総合的に分析して評価することができる。	企画した商品と市販の商品を比較して研究する。	240 分